

平成 30 年 7 月 12 日 (木)

## 「音楽祭」あいさつ

津山商業高等学校 校長 石下 義久

みなさんおはようございます。

まず、はじめに今回の豪雨に関して本校生徒・ご家族には人的な被害がなかったことをこの場を借りてお知らせします。ただ、物的な被害があったり知り合いが被災されていたりというお話も伺っています。

被災された皆様には、心よりお見舞申し上げます。そして、一日でも早く平穏な生活に戻れますようお願いしております。

生徒のみなさんは 7 月 6 日 (金) から今日まで様々な面で大変な時間を過ごしたと思います。そのような中、本日、多くの方々の支えにより音楽祭を開催できることに関して、深く感謝しています。特に、JR の運転取りやめを受けて、連日送迎をしていただいた保護者の方々には校長として心よりお礼を申し上げます。生み出していただいた「時間」を我々は大切に使います。是非、生徒のみなさんも家に帰って、このことはしっかりと伝えてほしいと思います。同時に、生徒のみなさん一人ひとりが家族や地域の方の支えがあって勉強や学校行事・部活動に励むことができているという認識を持ってもらいたい。この事に関して家族や地域の方に「感謝の気持ち」を自分の言葉で伝えてほしいと思います。そして、支えてくださった方への恩返しを目標にして、あらゆることに対して、今を精一杯頑張ることを心に誓ってほしいと思います。自分のためだけに頑張るよりも誰かのために頑張る方が何倍も力が出ると思います。また、今後、ボランティア等で被災された方々への支援が必要になると思います。その時に備えて「何ができるのか」をしっかりと考えましょう。

さあ！音楽祭です。練習を見させていただきましたが、短い時間の中、みんな本当に良く努力したと思います。「計画、練習、話し合い」そして発表、それらの繰り返しの中に個人として、集団としての成長があったのではないのでしょうか。粘り強さや我慢する心、やり抜く力や協力する力などは絶対に身についたはずです。ステージには自信と誇りをもってエレガントにそして堂々と立ちましょう。

合唱は自分一人ではできません。まず、仲間を感じることから始まります。お互いに歌声を合わせようとする気持ちが一番大切です。そして、気持ちをひとつにしなければ、感動をあたえる合唱は出来ません。我々教職員も含め、津商の「仲間」をこの音楽祭で感じてください。合唱の持つ力を信じてください。

届けましょう！我々の思いを！被災地へ、大切な人へ、心はつながっています！

1 年「チェリー」 新たな旅立ちに向かう決意を！

2 年「明日はきっといい日になる」 前向きになれる希望を！

3 年「ありがとう」 大切な人への感謝の気持ちを！

# We are Tsusho！！